

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（経営者）	・11月にイベント予定があり、予約もたくさん入っているので、良くなる。
	◎	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緊急事態宣言解除となれば、人は少しずつ動く。常連客に話を聞くと、外出を相当我慢しているようである。また、ワクチンパスポート等の導入で、忘年会などもできるようになることを期待したい。
	◎	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・10月から緊急事態宣言が解除され、与党の新総裁も決まり、皆が前に進む方向性になると思うので、人流は良くなる。
	◎	都市型ホテル（総支配人）	・今が底だとみている。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除が決定し、国や県の政策が行われていくはずなので、間違いなく現状よりは良くなる。しかし、早急に効果が現れると楽観視してはいない。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数減少が続き、幼稚園、学校等の行事は、時間を短縮しながら実施する予定が入ってきている。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染者数の増減に左右される可能性はあるものの、ワクチン接種率の更なる上昇により、感染者数や重症者数も一定のレベルに抑えられていくと推察している。
	○	百貨店（店長）	・緊急事態宣言が解除となり、上向くことが期待できる。
	○	スーパー（商品部担当）	・9月の大型連休の人の動き方や、新型コロナウイルスワクチンパスポート的な経済活動の後押しが、多少でも景気回復に貢献するのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・Go To EatやGo To Travelキャンペーンが、今後再開する可能性があるため期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・年末年始向けの高単価商材が出てくるほか、予約商材やイベント等もあるため、良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・10月から緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種率の上昇等から、客の心理は外へと向かっていく。そういった面では良くなっていくと思うが、3か月後となると、感染拡大第6波も考えなくてはならないと危惧している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことにより、元の生活に戻る人が多く、売上等にも期待を持っている。しかし、最低賃金の変更に伴う時給変更で、人件費の増加が大きく、経費的に苦しくなりそうである。零細企業の経営からすると大変厳しいものがある。
	○	衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言が解除されて人流が再び活性化されれば、消費が伸びる可能性はあるだろうが、新型コロナウイルスの感染拡大第6波のおそれがあるために、予断を許さない。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・今後の見通しというか出口戦略、具体的な政策が全くないので、皆が疑心暗鬼で、外に出られない状況のままだと思う。新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進めば、客が出てくる可能性があるので、今までよりは1人でも多くの客が来てくれることを願って、希望的観測を含めて、やや良くなるという判断である。
	○	家電量販店（店長）	・人の動きが出てくれば、売上は増えてくる。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、今までは閉塞感が先行していた。今後、政治のせいばかりとはいえないが、政治も良いかじ取りで前向きになれば、かなり回復に向かうのではないかと。そういった政治に対する期待感が、我々の内面にあるのではないかと。
	○	住関連専門店（仕入担当）	・段階的にせよ、今後行動制限が緩和される見込みのため、今より悪くなることはない。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・緊急事態宣言解除の方向に向かえば、徐々に客足は戻ると予想している。新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、年末に向けて人も回復するのではないかと。
○	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言解除になれば、少しは良くなるのではないかと望みをかけている。	

○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・ワクチン接種の進展や緊急事態宣言の解除等により、最悪の状況は脱していくと期待したい。しかし、新型コロナウイルスの影響の長期化で、今の就業や生活のスタイルが定着し、単純に新型コロナウイルス発生前に戻ることはないとみており、定着したスタイルにフィットした取組が不可欠になる。
○	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を済ませた人が増えているので、少しずつ回復傾向になる。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種率の上昇に伴い、県独自の旅行キャンペーンも始まると報道されており、ある程度の回復が見込まれる。しかし、会食を伴う集まりは、いまだ反応が鈍く、忘新年会需要の見通しは立てにくい。宿泊はビジネス利用が8割なので、県境移動がオープンになれば、追い風になるのではないかと。
○	旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言解除による当県独自の旅行補助金事業が開始される予定のため、やや良くなる。
○	旅行代理店（所長）	・10月から緊急事態宣言が全国一律で解除されることで、これまで控えられていた団体や個人の旅行需要は上向くと期待している。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大第6波や冬季に向けてインフルエンザの流行も懸念されており、心配である。
○	旅行代理店（従業員）	・団体旅行が動き始めている。しかし、客との約款がかなり客側に有利なため、関係機関との契約を改善しないと直前取消の場合に大きな赤字となる。
○	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除による景気回復はあるものの、前年や2年前までの回復は見込めない。
○	通信会社（総務担当）	・20～50代の新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでおり、緊急事態宣言解除とあわせて、来客は増える見込みである。
○	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言解除で学生団体の来園者が見込まれるほか、紅葉シーズンを迎え、個人客の増加が期待できる。
○	美容室（経営者）	・既に日本の株式市場は、世代交代、政治の新体制による変化を期待して上昇している。
□	百貨店（営業担当）	・来月以降は緊急事態宣言も解除される見込みだが、新型コロナウイルスのワクチン接種率や冬に向けての感染再拡大の懸念等、依然として先の見通しは不透明である。向こう数か月は現状維持と予想される。
□	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言は解除されるようだが、この先に、下がってしまった売上が増えていくとは思えない。
□	衣料品専門店（統括）	・最近はずっと今までにないような注文が入る。通常の買物とは違うので、早く祭礼等が通常に戻るよう期待したい。
□	乗用車販売店（経営者）	・当社のような自動車販売、整備業は、車検制度により極端な売上減はない。ただし、新車販売では受注しても納期が数か月先になってしまう。特に、中型トラック等は6か月以上が当たり前で、そのうちには資金繰りにも影響が出てくるのではないかとと思うくらいである。
□	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないと、景気は上向かない。商店街は火の消えたような状態で、緊急事態宣言が解除されたからといって、すぐに客が戻るわけではないので、徐々に良くなっていくとは思いますが、すぐに良くなることはない。
□	住関連専門店（店長）	・緊急事態宣言は10月で解除になるが、すぐには景気回復は見込めない。新型コロナウイルスの感染者が再び増加すれば、またいつ緊急事態宣言が発出されるか分からない。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・小売を営んでいる者としては、精神的な面で、客が買物の楽しさを忘れてしまい、これを解くには時間が掛かると思っている。また、自動車業界では、商材不足が表面に出てきているが、アジアで生産がコントロールできない状態が続きそうで、大きな問題になってきている。
□	タクシー（経営者）	・全体的に人の動きが悪いので、この先も良くないとみている。
□	通信会社（局長）	・新型コロナウイルス次第という状況は変わらない。

		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種者が増え、感染者数が減少していることから、緊急事態宣言解除後の景気の回復に期待したい。ただし、解除後に客足が戻るのか、感染拡大が繰り返されるのかは不透明であり、当面の間は、現状が続くのではない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・良くなると思いたいですが、ここまで冷え込んだ景気は簡単に回復するとは期待できない。体力のない我々中小企業は維持するのが精一杯である。
		設計事務所（所長）	・緊急事態宣言が解除されても、11月以降再び感染拡大を懸念する声もある。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んではいないものの、しばらくは景気上昇は見込めない。
		設計事務所（所長）	・緊急事態宣言解除によって新型コロナウイルスの感染対策をしながら、徐々に行動をするべきなので、この2～3か月は様子見となるのではないかと。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・リフォームや建て替え等の大規模な依頼や相談は、ほぼない。現状は、必要最低限の修繕程度にとどまっていることからみても、この先もしばらくは変わらない。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節柄、閑散期となるため、売上は落ちる。
	▲	乗用車販売店（販売担当）	・半導体不足で、客が車の購入を決めても納車ができないためにキャンセルが相次いでいる。2～3か月先に良くなる要因もないので、まだしばらくはこの状態が続く。
	▲	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注と受注残が減少しており、厳しい状況が続いている。
	▲	通信会社（経営者）	・半導体不足や新型コロナウイルスの影響によるベトナム等、東南アジアの製造工場の生産ストップで、商材入荷の見通しが立たないということで、大変厳しい状況である。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・9月末で緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が全面解除される。観光業に従事している当社としては明るい話題である。しかし、周辺の商店主や問屋の営業の話では、全面解除という言葉で人々の活動が活発になり、10～11月に再び新型コロナウイルスが感染拡大し、年末年始に再度緊急事態宣言が発出され、また厳しい年末年始となるのではないかとという見方である。政府や自治体には、早急に制限緩和の具体的方針を出してもらおうと同時に、飲食店等の業者に対策をゆだねるのではなく、利用する一般市民への啓もう活動を積極的に行ってもらいたい。事業者の対策を利用者が守らない現状もあることを理解してほしい。
	×	家電量販店（店員）	・前年の特別定額給付金のようなものでもない限り、消費行動は促進されない。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染防止策が経済の動きを止めている。自粛要請はするが、その間の売上減や資金繰りの悪化に対しては自己責任となっている。宿泊、飲食業界のみならず、仕入れ業者や酒類販売業者等への影響も大きい。
	×	タクシー（役員）	・国の新型コロナウイルス対策が余りにもレベルが低いことが悪くなる原因である。
企業 動向 関連	◎	—	—
(北関東)	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されて、今まで家にいた人たちが外に出るようになれば、少しは売上が増える。
	○	社会保険労務士	・取引先の社長達は2回の新型コロナウイルスワクチン接種が済んでいるからか、今より先のことは明るい話をする人が多い。
	□	化学工業（経営者）	・引き合いはあるものの、受注まで至らないことが多い。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響も受けず、現状維持である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・従業員が新型コロナウイルスワクチン接種後に、副反応で2～3日休んだので、仕事に支障が出て困る。
	□	金属製品製造業（経営者）	・客から、発注額は変わらないといわれている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・国内主要自動車メーカーの組立ライン稼働が戻るかどうか全てである。11月には戻る計画も出ているが、不透明感が強く、楽観的にはなれない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の受注量等は6～8月と良かったが、今月はやや落ちている。10月辺りからは若干回復する。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくは、新型コロナウイルスの影響が残ると考える。

	□	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、人出も増える見込みなので、特に、レジャー、バーベキュー、園芸用品等の物量は増える予測である。また、冬物家電等が動き出して、冬物寝具等の物量も増える予定なので、前年並みの物量は確保できそうである。
	□	不動産業（管理担当）	・新規案件もあるものの、テナント撤退による賃料や維持管理作業の減少もあるため、トータルでは変わらない。
	□	広告代理店（営業担当）	・良くなる兆候は何もない。
	□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス禍の締め付け政策の緩和を期待した生活行動の活発化が期待できるものの、依然として先行き不透明感が強く、地域経済は緊急事態宣言の終結と国のアフターコロナの明確な政策次第となっている。
	□	司法書士	・余り変わらずにいくのではないかと。例年、仕事は今頃から12月末に向かって比較的忙しくなるので、今年はどうなるのかと思っている。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	・特段の変化はみられない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・日に日に部材の入りが悪くなっていて、2月に注文した部材がまだ入ってこない。もう、どうにもならない状況だが、これからもっとひどくなる予測も出ているので、当社にとっては悲劇的な状況が目前に迫っている。
	▲	建設業（総務担当）	・発注ベースが悪過ぎて、良くなる兆しはない。
	×	建設業（開発担当）	・今期の公共工事は前年比12%減と厳しい。前年は令和元年に発生した自然災害の復旧工事があったのでその影響である。今後を考えた場合、新型コロナウイルス禍で、国、地方共に財源が厳しいため、公共工事の厳しい状況は続く。当社も前期比10%減の受注と、厳しい状況である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・衣料品は秋冬物に変わる衣替えの月でもあり、動きが出始めていると肌で感じている。住宅関連部門も募集等の内容によっては動き出す傾向となる。公共事業関連では県から上下水道工事等の発注もあるので土木は募集の動きがある。製造は食料品高騰の影響が微妙で、分からない。今後に期待したい。
	○	人材派遣会社（社員）	・当社取引先は宿泊施設関係が多いが、そちらの予約状況も改善してきて、かなり宿泊者数も増え、稼働率も上がってきている。10月1日から緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されるので、稼働率が上昇するというか、戻りつつあることに期待が持てそうである。
	○	職業安定所（職員）	・休業要請で休業している事業所では新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるため、緊急事態宣言解除後は経済活動が盛んになると見込んでいる。
	○	学校 [専門学校]（副校長）	・新型コロナウイルス対策が進んでワクチン接種率も上がり、不安感が拭えてきている。新たなWithコロナに向かっていくのではないかと。ただし、感染拡大第6波への不安もあるため、景気回復には懐疑的な感もうかがえる。
	□	人材派遣会社（社員）	・半導体不足が解消されず、輸送機器関連企業からの受注増は見込めない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に増加傾向にある。新型コロナウイルスの感染状況が今後どうなるか不安なため、求人も正社員以外の募集が多くなっている。このような状況から、先行きは不透明であり、今後の動きを注視していく必要がある。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・大手自動車メーカーの生産調整のため、自動車部品製造派遣が減少する。
	×	*	*